

令和元年度小松市立国府小学校 学校評価(計画)

めざす児童生徒像

《やさしい子》 互いに認め合い、思いやりの心をもつ子
《かしこい子》 主体的に考え、共に学ぶ子
《たくましい子》 自身を高めようと、主体的に努力する子

※児童生徒達成結果－教員結果・保護者結果

	目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果(%)			※差	達成状況の分析	改善策
					教員	児童生徒	保護者			
(学校重点項目)	組織的な学校運営	やかた行動の推進	すべての項目の割合が80%以上	① 児童は、周囲に対して思いやりのある心で接し、やさしい言葉や行動に表そうとしている(やさしく)						
				② 児童は、自分の可能性を広げるために、仲間と共に自ら学びに向かっている(かしこく)						
				③ 児童は、自身や集団を高めようと、学校生活において粘り強く努力している(たくましく)						
				④ 学校経営方針の具現化に向け、職員一人一人が参画意識を持ち、主任等を中心に一体となって教育活動にあたっている						
				集計						
	目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目					達成状況の分析	改善策
重点項目	石川県共通	働き方や業務の改善	すべての項目の割合が80%以上	① 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。						
				② 教職員一人一人が時間管理の意識を持ち、最終退勤時刻を週3日以上守っている。						
				③ 教育活動について、能率化・効率化を図り、組織として業務改善を図っている。						
小松市共通重点項目	指導力の向上	学校研究	④の割合が80%以上	① 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。						
				② 研究主題に迫る目指す授業像(児童生徒像)を共有し、研究の視点に沿った授業研究会を計画的に行っている。						
				③ 教職員一人一人が授業研究に主体的に取り組み、自校の授業改善に向けた取組を共有・実践している。						
				④ 「国府小授業づくり」を毎日の算数の授業で実践している。						
				集計						
		授業	①②の割合が80%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
				③ (発表力) 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ (記述力) 児童生徒は、自分の考えを書く機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して書いている。						
	学力の定着	学力調査	④を達成したクラスが100%	⑤ 児童生徒は、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている。						
				⑥ 児童生徒は、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				集計						
		家庭学習	①の割合が85%以上	① 学力の重点目標や具体的な取り組みは全教職員で共通理解し、目標を達成できるよう取り組みは徹底して行っている。						
				② 学力向上ロードマップにおける各自の役割を教職員が理解し、定期的な検証がなされている。						
				③ 近隣等の小中学校と学力調査の結果や分析、成果や課題を共有している。(小中連携)						
				④ 国語・算数の単元末テストで80点以上の児童の割合がクラスで8割以上である。						
		家庭学習	①の割合が85%以上	集計						
				① 自分で計画を立てて勉強している(3年生以上)						
				② 児童生徒の家庭学習の評価・指導を行っている						
				集計						